

## 西部太平洋における海鳥の衛星追跡： 渡り鳥で繋げるアジアの海と人々

活動地域  香港、インドネシア



標識調査チームとデコイ (セーラム島で)

### 課題

東南アジアにおいて、海鳥保全に必要な人材を育成し、重要サイトの保全対策を構築、保全の意識啓発を進める。西太平洋で海鳥保全研究者の協力ネットワークを構築する。

### 目標

アジアの重要サイトを集めた海鳥保全ネットワークが形成される。保全を進めるため、インドネシア、フィリピンなど各国との共同プロジェクトを実施する。



### 今後の 展望

渡りルート調査を継続し、インドネシアで地域コミュニティとの協力を開始する。海鳥を海洋環境保全のシンボルとして持続的利用とプラスチックなど海洋汚染の低減を促進する。

ひろげる助成

2年目

調査研究

### 活動内容と成果

アジサシ類の渡り解明のため香港でマミジロアジサシ108羽、インドネシアでオオアジサシ10羽を標識放鳥した。インドネシアからの衛星追跡ではオーストラリアやパラオへの移動を確認した。2月の太平洋海鳥グループ会議では本事業の活動を報告し研究者と共有した。インドネシアで海鳥調査員を育成するため10人の調査研修を行い、地元大学でのワークショップには100人を超える教員・学生の参加を得た。またインドネシア語で海鳥保全普及用ポスター2,000部を発行した。



インドネシアの  
海鳥保全普及用ポスター

海鳥標識調査研修者 **10人**

インドネシアの海鳥  
ポスター印刷 **2,000部**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■ 苦勞した点

マミジロアジサシに装着した小型衛星追跡タグで動作不良があった。コロナウイルス発生によりフィリピンでの活動が進まなかった。

#### ■ 工夫した点

新しい捕獲方法を開発し、インドネシアでより多くのアジサシを捕獲した。衛星追跡では新しくパラオへの移動を確認した。

7C, V Ga Building, 532 Castle Peak Road, Lai Chi Kok, Kowloon, Hong Kong  
電話: +852 2377 4387  
E-mail: hkbws@hkbws.org.hk  
HP: <https://www.hkbws.org.hk/>

